

Project5 住民参加型共育・協働プロジェクト

(1) ボランティアガイド養成事業

【手法・内容】 もてなしの心で来訪者に町の魅力を伝えるシステムを構築

- ① 観光ボランティアガイド、歴史・文化財解説ボランティアガイド
自然の解説者、東郷湖グリーンマイスター
- ② ゆりはま塾など既存の取り組みを活用

(単位：千円)

年度	所管課	実施状況	決算額	備考
24	産業振興課 (観光協会)	湯梨浜塾塾生、町文化財保護委員、その他有志を対象に機運醸成のための先進地視察を実施(期日12/9、行先：岡山県高梁市ほか)。18名の参加を得た。次年度、ガイド養成に取り組む。	104	
	企画課	湯梨浜町の歴史、伝統、自然に関する知識、それを伝承する技術を習得するため、ゆりはま塾を開催。(塾生 8名) ゆりはま塾 年4回実施 学習会 年6回実施	84	
25	産業振興課 (観光協会)	ガイド養成講座を実施し、組織化に取り組んだ。 10/24～12/19 養成講座(講義、実地体験等) 1～2月 ガイド組織化の準備会	180	
	企画課	ゆりはま塾 8回 学習会 5回 ※H26.1.31現在	51	
26	産業振興課 (観光協会)	ガイド組織の活動をスタート(実際にガイド活動を行った。)	100	
	企画課	H25年度事業に加え、伝承技術を習得するためゆりはま塾及び学習会を開催。(塾生 8名) ※ゆりはま塾(年4回)、学習塾を(年6回)、学習成果報告書の作成、継承活動(年1回)、次期塾生の募集	51	
27	産業振興課 (観光協会)	町観光協会補助金のうち 40千円 「湯梨浜町観光ガイドの会」の活動支援	40	
28	産業振興課	町観光協会補助金のうち 40千円 「湯梨浜町観光ガイドの会」の活動支援	40	

【成果】

ガイド養成講座を通じて観光ガイド20名(H29年2月末現在)が登録。各種イベントや倭文神社参詣プラン、カニバス添乗等に活用されている。

【課題】

ガイドの制度についてさらに周知を進める必要がある。制度を維持・発展させていくためには、ガイド各員のモチベーションを高める工夫が必要。



(2) 湯梨浜検定

【手法・内容】 本町の知名度向上と地域振興策の一環として、ご当地検定システムを構築

(単位：千円)

年度	所管課	実施状況	決算額	備考
24	生涯学習・ 人権推進課	12月11日に実施した先進地視察（岡山県高梁市ほか）に文化財保護委員等参加し、機運の醸成を図った。	観光協会	
25	生涯学習・ 人権推進課	ボランティアガイド(歴史・文化財含む)に関する窓口を産業振興課に一本化し、観光ボランティアガイドの養成と制度設計、その組織化を図る。 ※ガイドは、計6回の養成講座のうち4回出席で認定。	観光協会	
26	生涯学習・ 人権推進課	◇湯梨浜検定等については「継続検討中」 ◇歴史・文化財関係は以下のとおり ・10月26日に歴史講座を開催 ・町内の歴史・文化遺産等を解説するガイド本を作成 ・案内看板の新設や既存看板の改修を実施	2,002	
27	生涯学習・ 人権推進課	◇湯梨浜検定等については「継続検討」 ◇歴史・文化財関係は以下のとおり ・3月27日に歴史講座を開催 ・ふるさと再発見湯梨浜学講座を2回開催	25	
28	生涯学習・ 人権推進課	◇歴史・文化財関係は以下のとおり ・歴史講座の開催 ・ふるさと再発見湯梨浜学講座の開催	49	

【成果】

歴史講座の実施等を通じて、ボランティアガイド組織の発足、に結実させることができた。ガイド養成講座を継続して行いながら人材の育成を図りたい。

【課題】

若年層の参画が少なく、後継者の育成をどのように進めるかが課題。